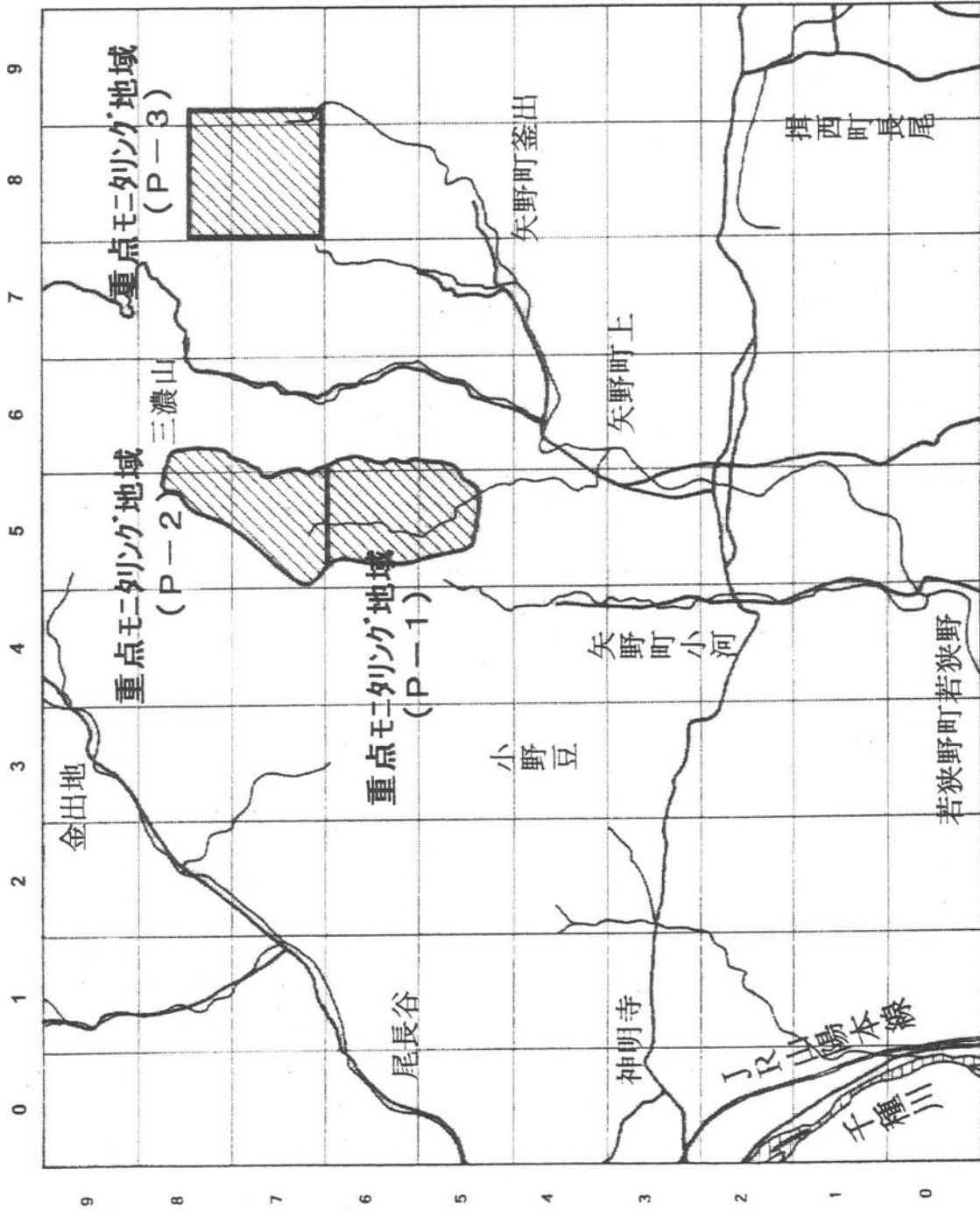


図II-2-6 静岡県広域モニタリング地域概観図

<標準第2次メッシュ地域区画コード：5233962>
 (図の上と左の番号は、第3次地域区画コード)

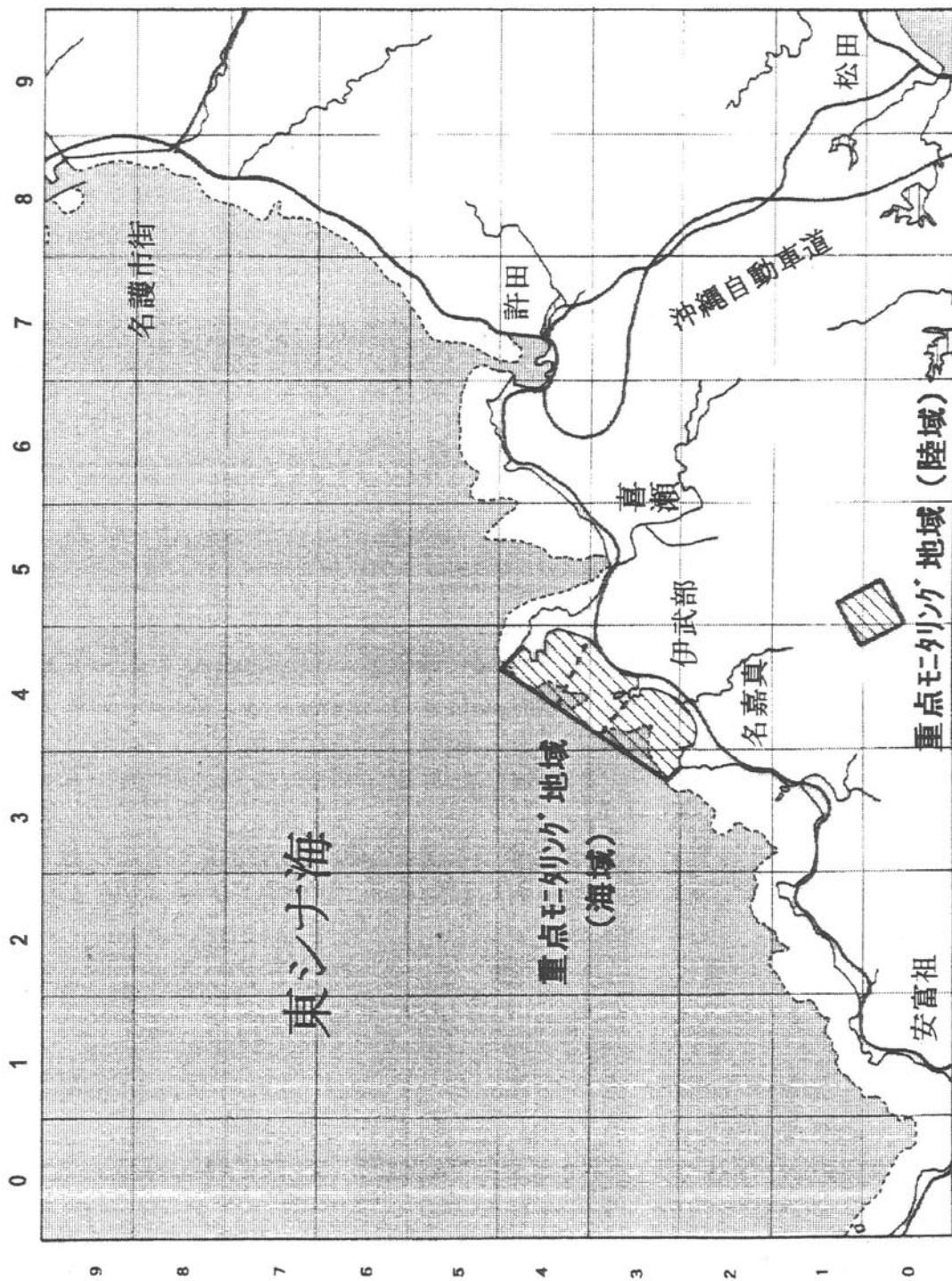


図II-2-7 兵庫県広域上列河川地域位置図
(1/200,000)



図II-2-8 兵庫県広域モニタリング地域概観図

標準第2次メッシュ地域区画コード：523423>
 (図の上と左の番号は、第3次メッシュ地域区画コード)



図II-2-10 沖縄県広域モニタリング地域概観図

＜標準第2次メッシュ地域区画コード：392767＞
 （図の上と左の番号は、第3次メッシュ地域区画コード）

静岡市と清水市の間位置する日本平を含む地域を対象として広域モニタリング地域として設定した。

1/25,000 地形図の「清水東部」図幅、標準地域メッシュの 5238-33 に相当する。

当該地域は西半分が安倍川の扇状地性堆積物を主体とする静岡平野、東半分が最高標高 309 m の有度丘陵、さらに東に清水平野の一部が覗く。そしてこれらの南側には駿河湾が広がっている。

有度丘陵は、第四紀更新世の旧安倍川堆積物で作った地形面が隆起したもので、その南側と東側は海食のために急崖となっている。なお有度丘陵頂部の平坦面が「日本平」と呼ばれる。

当該地域の西端で駿河湾に流入する安倍川は、静岡－清水平野の北に位置する身延山地に端を発する。

土壌は、図幅の西半分および北東端が、静岡市と清水市の市街地であり、大半が人工改変を受けている。その低地部の中に、低地土壌あるいはグライ土壌が分布し、これがほぼ水田の分布と一致している。また海岸線には砂丘未熟土壌がみられる。一方、日本平を中心とする丘陵地は、東半分のほとんどと西半分の一部が黄色土壌、西半分には残積性未熟土壌が広がる。また丘陵西麓には黒ボク土壌、南の急斜面には、残積性未熟土あるいは岩屑土壌が分布する。

2-1-4. 兵庫県（図Ⅱ-2-7 および図Ⅱ-2-8）

兵庫県の南西部の龍野市、相生市、赤穂市、揖保郡新宮町、赤穂郡上郡町にまたがる地域を広域モニタリング地域として設定した。

1/25,000 地形図の「二木」図幅、標準地域メッシュの 5234-23 に相当する。

当該地域は標高 400 ～ 600 m の隆起準平原（吉備高原面）に相当する丘陵地ないし小起伏山地であり、それを瀬戸内海に流入する千種川もしくは揖保川水系の谷が下刻し、谷底低地が北東－南西方向、もしくは南北方向に発達している。また、この地域には多数のため池が存在し、これもこの地域の水環境を特徴付けている。

丘陵地、小起伏山地の北部は中世代白亜紀後期の花崗岩類・安山岩類、南部は同時期の流紋岩類、中部は古生代の緑色岩類、泥岩類からなる。

土壌については、ほぼ全域の尾根部を中心に褐色森林土壌が広がる。南部の尾根上には未熟土や受食土が分布する。一方、谷筋にはグライ土壌など低地性の土壌が分布する。

2-1-5. 沖縄県（図Ⅱ-2-9 および図Ⅱ-2-10）

沖縄県沖縄島、名護の南方に位置する名護市、恩納村、宜野座村にまたがる地域を広域モニタリング地域として設定した。

1/25,000 地形図の「名護南部」図幅、標準地域メッシュの 3927-67 に相当する。

当該地域は、北西側から東シナ海、名護湾に臨むサンゴ礁、海岸段丘、沖縄島の脊梁山地、海岸段丘、太平洋に面するサンゴ礁といった北東－南西方向の地形配列がみられる。脊梁山地の地域内の最高標高は 284 m である。

山地の地質は、北部で千枚岩・緑色岩類、中部で粘板岩類、南部で砂岩類で、海岸段丘は同様の基盤を切った上に段丘礫層がのっている。

海岸低地はきわめて狭く、段丘崖が直接海岸線に接しているところが多いが、中小河川沿いに発達した谷底低地の前面や部瀬名岬のようなトンボロ地形に砂州をともなう低地がみられる。

土壌については、山地は黄色土壌が中心、丘陵地台地は赤色土壌、赤黄色土壌が主体となっている。谷筋は岩屑土となっているところもある。海岸に近い低地では低地土壌やグライ土壌が分布する。